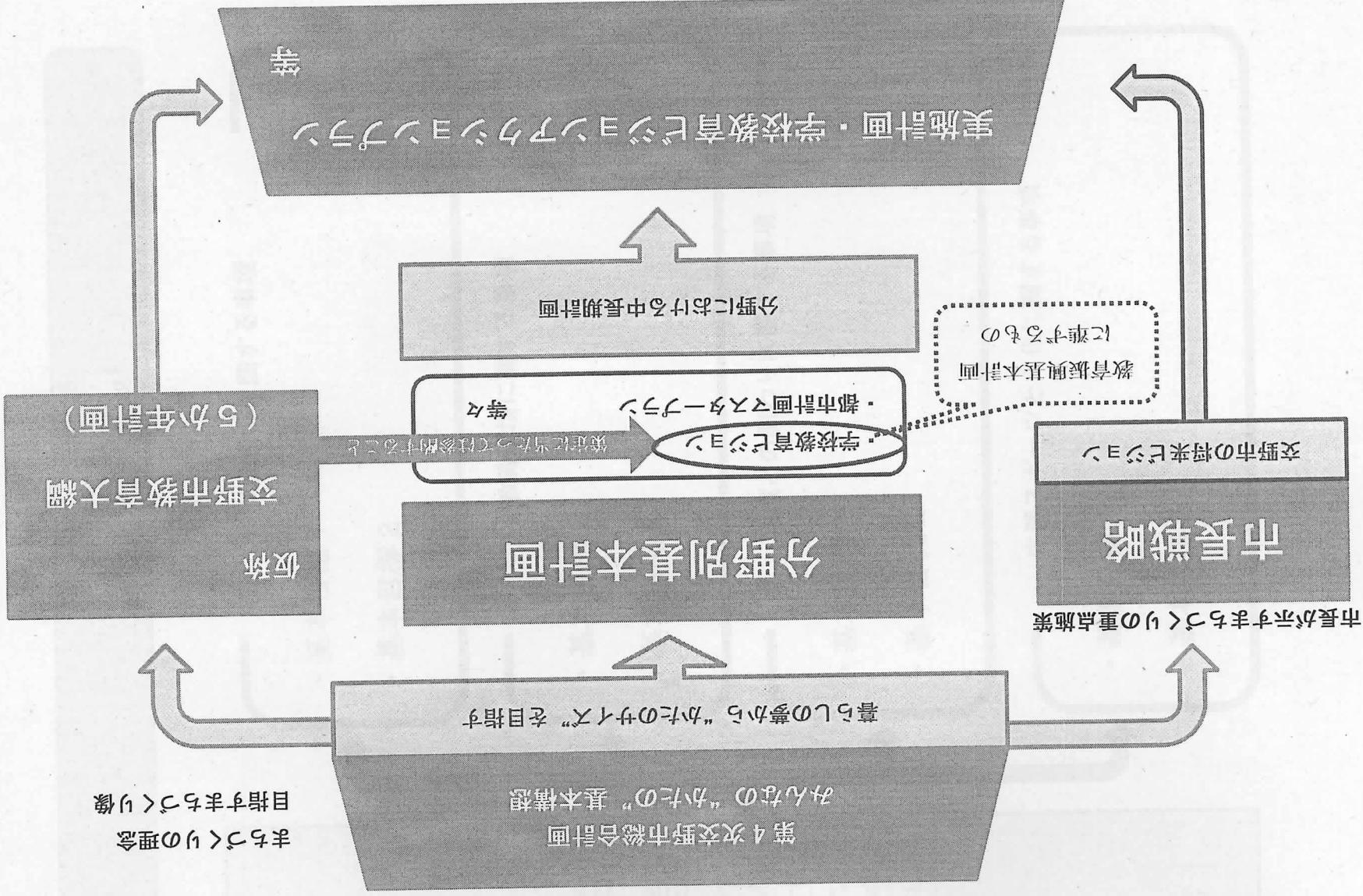


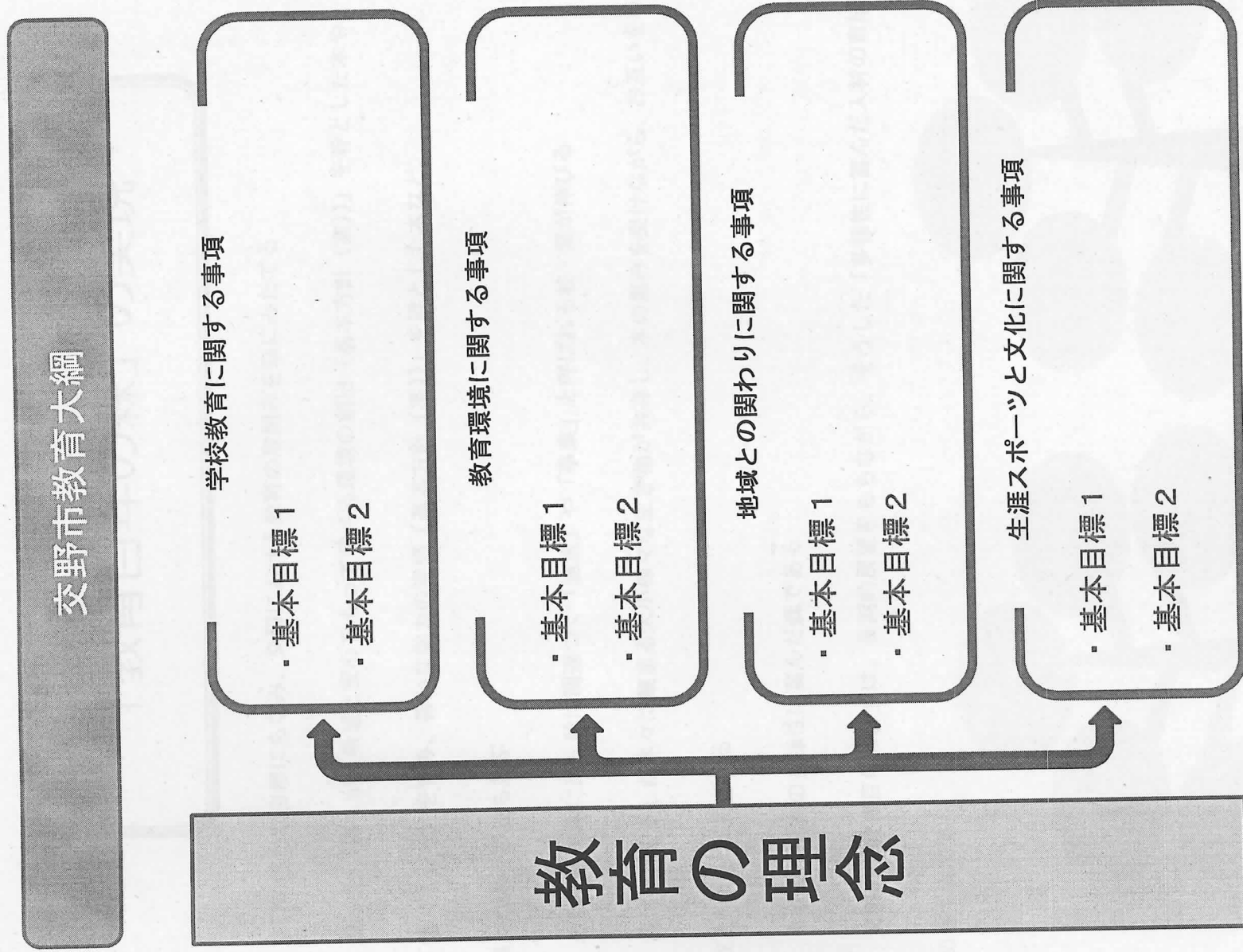
交野市教育大綱（素案）

平成27年 月

交野市

【総合計画を基本とした市長戦略、教育大綱などの位置づけ】





1. 教育の理念

「教育百年の森」の実現

交野の豊かな自然にちなみ、交野における教育の取組みを森にみたてる

森には、「誰もが、希望と安心をもって学べる環境の創出（基本方針（案）」を幹とした木や、

「情（こころ）を育み、確かな学力の実感（基本方針（案）」を幹とした木など、

様々な木々が立ち並ぶ

それぞれの木には、幹に関連づく「施策」や「事業」と呼ばれる枝・葉が伸びる

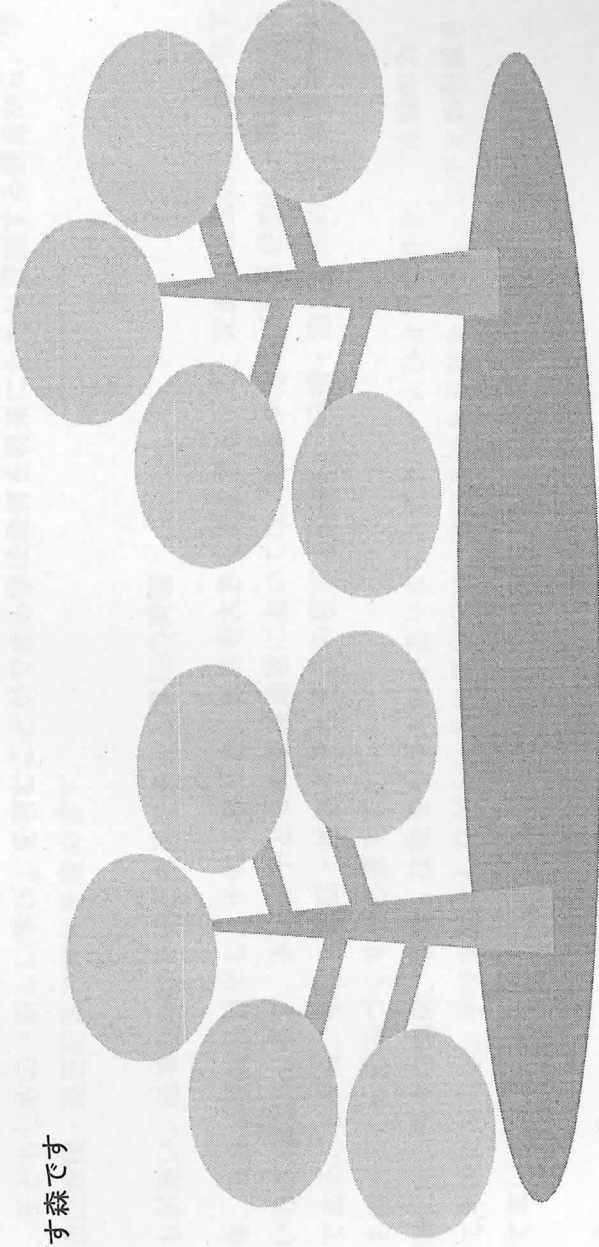
森には、そうした木々に集まる大小様々な生き物が共存し、木の恵みを受けながら、お互いを尊重し、

支え合い、成長をする

まさに、生物の多様性に富んだ森である

交野の「教育百年の森」は、長期的展望をもちながら、そうした「多様性に富んだ人材の育成」を

めざす森です



2. 教育の基本方針

◆誰もが希望と安心をもって学べる環境の創出

教育を受ける機会、誰にも等しく与えられなければなりません。学校教育と福祉との連携を深め、学びのセーフティネットの構築に向けた取り組みを進めるとともに、子どもの学びへ必要な支援を行い、「希望」と「安心」をもって学べる環境を創造します。そして、そのことにより、子ども自ら大きな夢や理想に向かって能力を高めていこうとする意欲が引き出せる教育を推進します。

また、市民の皆さんが生きがいのある充実した生活を営めるよう、生涯学習の領域においても、学びの機会の提供に努めます。

◆情（こころ）を育み、確かな学力の実感

グローバル化により急激に変化する社会に対応できるグローバル・コミュニケーション能力とは、英語力に加え、自分を伝える力、相手を理解する力、すなわち、意見の違いを統合してみんなの知力の質を高めることです。そのため、学校教育では、基礎的・基本的な知識・技能の習得に加え、これらを活用して課題を解決する能力の育成に努めます。

また、このような力を身に付けた子どもは、自分を大切にするとともに、他者を尊重し、地域を支え、生涯にわたって自ら学び続けようとしています。21世紀に生きる子どもたちの「新しい学び」を育むため、授業方法の改善や指導方法の研究に努めます。

◆質の高い教育環境の整備

幼稚園教育要領、保育所保育指針、及び小学校学習指導要領には、幼稚園・保育所と小学校の連携及び円滑な接続の重要性が示されています。保育所（園）、幼稚園、小学校、中学校の連携を強化し、就学前から義務教育終了までの学びの連続性を保障する教育を充実させます。

また、子どもたちが安全・安心な学校施設や教育環境で学ぶことができるようにします。その一環として、子どもたちの「新しい学び」を育むことができる学校教育を将来にわたって保障する観点から、学校の適正規模・適正配置の方針を定めます。

◆誰もが集い、地域みんなまで子ども達を支える学校の実現

近年、社会が複雑多様化し、子供を取り巻く環境も大きく変化する中で、家庭や地域の教育力が低下している状況にあります。本来、子どもの成長過程においては、家庭や地域が担う役割は非常に大切なものであることから、学校・家庭・地域がそれぞれの役割を認識し、連携・協力を深め、一体となって子ども達を育む仕組みづくりが必要です。

地域には、様々な職業、経験、技能をもつ人材があります。これら一人ひとりの力を、“地域の力”として学校に結集し、学校を核としながら、共に学びあい、共に高めあう新たなコミュニティの形成を図ってまいります。

◆自然と歴史を通じたまちの発見

交野市は緑豊かな自然環境や貴重な文化財や古い歴史の残るまちです。これら環境や歴史、文化などに関する学びの場を通して、郷土への誇りと愛着を育むとともに、そうした風土が培ってきた文化芸術などの知的資源の活用を図り、生涯にわたる多彩な学習機会や情報の提供を行います。また、次世代を担う子ども達の感性や創造性を養い、こころ豊かな人間の育成を目指します。

◆生涯を通じたスポーツ振興

スポーツ基本法には、スポーツを通じて「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む」ことができる社会の重要性が掲げられています。

市民が、それぞれの体力や年齢、技術、興味や関心に応じて、いつでも、どこでも、幾つになっても主体的に、スポーツ活動に取り組むことができるよう、生涯スポーツの機会や情報の提供を行います。また、競技スポーツのみならず、スポーツをはじめあらゆるきっかけづくりとして、ニュースポーツ等の気軽なスポーツの推進に努めます。